

## 1、埼玉中部資源組合の現状と見通し

### (1)進捗を聞く

(2)地権者の同意率及び同意を求める職員の働きかけ状況について聞く

(3) 前回の一般質問より、地元の要望があれば説明会は開催するということがあった。そのため、説明会開催を組合に求めたが、市町村を通じてということであった。公費経営である以上、地元と同様に他の自治体についても、説明会・アセスメント・予算・ランニングコストについての説明を行わなければ公平性は確保できない。吉見町にすべてお任せ状況は各市町村長の責任放棄といえる。

2市6町1村において、吉見町地元と同様の説明会開催を求める。

(4) 収集運搬は、構成自治体責任となる。

嵐山町分の経費・住民の粗大ゴミの持ち込み等についての考えを聞く。

出所不明であるが、小川地区衛生組合自治体においては収集運搬について中間地を設けるという話も聞く。

構成市町村の収集運搬の、回数、経費、行政・民間委託等の把握及び収集運搬についての自治体間協議を聞く。

(5) 当組合本格稼働の場合、収集運搬は町民に影響が大きい。稼働する場合・経費等も含め説明会開催が必要である。施設建設についての説明と同時期の開催が必要だが考えを聞く

## 2、27年度予算の考え方

(1) 27年度予算の方向を聞く

(2) 自治基本条例制定について予算にどのように反映していくか聞く

(3) 開かれた予算として住民要望をどのように反映するか

(4) 各地区に、道路管理・公園管理を一部委託しているが、地区によっては問題が出ている場合もある。

例えば、平沢土地区画整理組合内の都市公園については平沢2区住民が管理している。建設当時は自然との共生のため、ブロックの間に芝等の植え込みが心地よかった。が、草とりを重ねていくうち、土がなくなり、ブロックが浮いてきている。改善が必要だが、予算がないと言われている。地元住民と話し合っ、計画を立て抜本的解決が必要である。

他の道路管理・公園管理についても地元と協議し、計画的改修が必要であるが、考えを聞く。

## 3、保育園・幼稚園への入園希望状況

(1) 次年度の保育園・幼稚園の入園希望状況を聞く

(2) 3才児の他市町幼稚園への入園状況を聞く

(3) 0才児の保育園待機が多くなっていると聞く。具体的な状況と対応を聞く

(4) 新たな保育園建設・保育園移転計画を聞くが、予定園児数・環境・町との関わりについて聞く

#### 4、人口減少抑制政策について

- (1) 空家情報と空家管理の現状を聞く。
- (2) 嵐山町への転入促進についての子育て世帯等転入奨励金は不動産購入が原則であるが、町で事業を行う場合、借家・アパートの場合についての考え方は。
- (3) 転入奨励金制度は28年度までとなっているが、28年度以降についての判断基準をきく。
- (4) 小川町下里地区の有機農業が広がってきて有機農業を行う若い世代が、嵐山町への転入希望があるという。

有機農業を行う環境が必要であること、地域での受け入れ、空家の賃借・売買までの環境整備・関係性づくりのフォローが必要である。働きかけを聞く。

- (5) 超高齢化社会を迎え、介護保険では不足するケースが多い。町内での親子近接住居の場合、若干でも介護保険で担えない部分をカバー出来ることのほうが多い。

町内での近接住居の場合は、転入促進と同様の支援があると、今後の人口流出抑制につながることも考えられる。考え方を聞く。